

藤本一馬 guitar
 須川崇志 contrabass
 福盛進也 drums

2019 02月28日(木)

開場 19:30
 開演 20:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3500 円+2drinks order

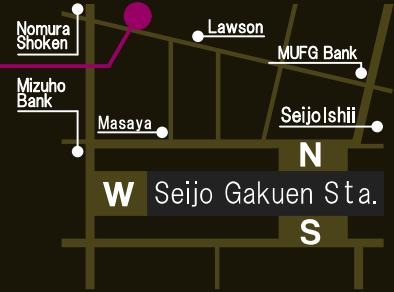
CAFE **B**EULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
 必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
 ご記載ください。



須川崇志

1982年2月生、群馬県伊勢崎市出身。11歳の頃にチェロを弾き始め、18歳でジャズベースを独学で始める。2001年に日本大学文理学部を中退、その後奨学金を得てアメリカへ渡り、パークリー音楽大学にてJohn Lockwood氏にベースを師事する。2006年に同大学を卒業。同年夏、自己のトリオを結成、日本国内14カ所をツアーする。2007年に活動拠点をニューヨークに移す。2008年9月に日本へ帰国し、現在は東京在住。辛島文雄トリオを経て、2010年3月から日野皓正カルテットのメンバーとなり、アルバムレコーディングに加。2011年には八木美知依ダブルトリオ(MYDT)でドイツのメルスフェスティバル、日野皓正AFTERSHOCKバンドで東京ジャズに出演。他の共演者に、Peter Brotzmann、峰厚介、本田珠也、太田恵資、Mike Nock、Todd Nicholson、伊藤君子、山中千尋、Gene Jackson等。また、2018年11月に初リーダーアルバム作品、「Outgrowing」をSong X jazzレコードより発売。

藤本一馬

ギタリスト、コンポーザー。ミュージシャンの父親の影響で独学でギターを弾き始める。1998年ヴォーカルのナガシマトモコとorange pekoeを結成。2002年1stアルバム「Organic Plastic Music」が35万枚のセールスを超え、その後も国内はもとよりアジア各国や北米でのCDリリース、ライブ公演など幅広い支持を獲得。2010年よりインストゥメンタル音楽を中心としたソロ名義でのライブ活動を開始。2011年1stアルバム「SUN DANCE」をリリース。岡部洋一と工藤精を迎えたトリオでのパフォーマンスが話題となる。その後もカルロス・アギーレやアンドレ・メマリー等をフィーチャーした「Dialogues」、「My Native Land」、また伊藤志宏とのデュオ作品「Wavenir」を発表。心を静める音楽集「Quiet Corner」で紹介される等、ジャズやクラシック音楽だけでなくワールドミュージックリスナーなど幅広い支持を得る。2016年の最新作「FLOW」では林正樹と西嶋徹とのトリオを軸にシルビア・イリオンド、ジョアナ・ケイロスを迎え録音。その他、中島ノブユキ「散りゆく花」の録音とライブツアー、小沼ようすけとのギターデュオ作品「Naja」のプロジェクトへ参加など、国内外の様々なアーティストと共演。雄大な自然からの着想、自己の内面を投影したオリジナル楽曲を中心に、その音楽性は高い評価を獲得している。

福盛進也

独特で繊細なシンバルワーク、そしてメロディック且つリズム的なインタープレイで演奏を展開させるドイツで活躍中のドラマー。またダイナミクスの幅が広く詩情的なプレイを得意とする。1984年1月5日、大阪市阿倍野区生まれ。15歳でドラムを始め、17歳の時に芸術高校にて音楽を学ぶために単身で渡米。その後、ブルックヘブンカレッジ、テキサス大学アーリントン校を経て、ボストンのパークリー音楽大学を卒業。10年間のアメリカでの活動後、2013年に拠点をミュンヘンに移し欧州各国で活動を開始。繊細で巧みなドラム・プレイだけでなく、作曲家としても高い評価を得ている。2017年に自身のトリオで、ECMレーベルから日本人二人目となるリーダー・アルバム「For 2 Akis」を録音し、2018年2月に世界リリース。